

- 一級河川相模川にある「小沢頭首工」は、建設後、約60年を経過。
- 施設の老朽化が著しく、また、度重なる異常な増水に見舞われる等、施設の維持管理に支障をきたしていた。
- 施設の長寿命化対策を行うことで、近年、頻発化・激甚化する風水害にも強く、用水の安定供給が可能となり、安定した農産物の生産を支えている。

■ 事業主体：神奈川県

■ 地区名：小沢地区

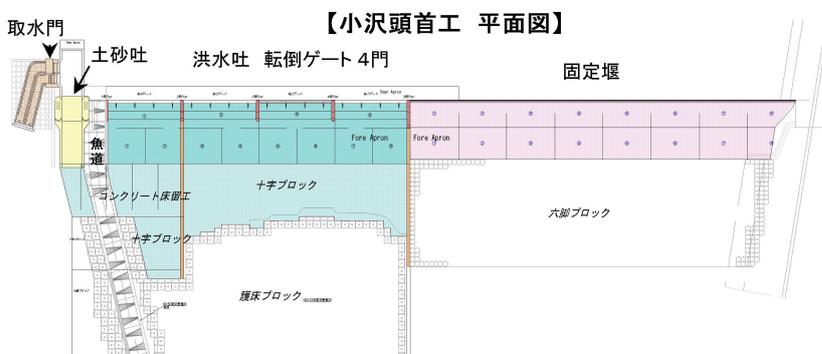
■ 対策の概要：

洪水等による劣化及び老朽化した頭首工（ゲート、固定堰等）の補修、交換

■ 事業費：国費4.8億円（事業費9.6億円） 農業基盤整備促進事業

■ 効果：

- 農業用施設（頭首工）の維持補修により、施設の長寿命化が促進され、利用者の維持管理労力が軽減
- 対策後、異常気象による風水害においても施設の被災を未然に防止



洪水による劣化状況（固定堰）

整備



洪水時の状況（相模川）



転倒ゲートの劣化状況



転倒ゲートの完成状況